

ローマ史 超整理!

	おもな皇帝・事件	キリスト教 (宗教)	社会経済	ギリシャ～イラン(ペルシャ)
前6C	前509年 エトルリア人王を追放→貴族共和政へ コンスル (統領) 2名→ ディクタトル 1名 元老院 300名	多神教		前508年 クレイステネスの改革 前500年～ ペルシャ戦争
前5C	前494年 聖山事件 (平民 vs 貴族) → 護民官 の設置→ 平民会 成立 前450年 十二表法 制定 →新貴族 (ノビレス) の登場			前431年～ ペロポネソス戦争
前4C	前367年 リキニウス=セクスティウス法 ①コンスルのうち一人は平民から選出 ②公有地の所有制限			前338年 カイロネイアの戦い 前334年 東方遠征開始 前333年 イッソスの戦い
前3C	前287年 ホルテンシウス法 平民会の決議は元老院の承認なしに国法化可能 →貴族と平民の法的平等達成! →民主共和政へ 前272年 タレントゥム 陥落→イタリア半島統一 →分割統治の開始			前248年 パルティア 自立 中国名 “安息”
前2C	前264年 シチリア島 獲得 前216年 ハンニバル戦争 前146年 カルタゴ の滅亡 前133年 グラックス兄弟 の改革→失敗 ・無産市民の増加→マリウスの傭兵制 ・ラティフンディアで財を成した新興成金が登場 (騎士階級)		ラティフンディア (奴隷制大土地所有制) 安い穀物の流入 →平民の没落	前168年 アンティゴノス朝 マケドニア滅亡
前1C	平民派 マリウス vs 閥族派 スラ ・スパルタクスの乱 ・シチリア大反乱 ・同盟市戦争→ローマ市民権が全イタリア半島の市民に拡大 第1回三頭政治… カエサル ・ ポンペイウス ・ クラッスス カエサル独裁→暗殺 第2回三頭政治… オクタヴィアヌス ・ アントニウス ・ レピドゥス 前31年 アクティウムの海戦 →地中海帝国へ			前63年 セレウコス朝シリア 滅亡 前30年 プトレマイオス朝 エジプト滅亡

貴族共和政

共和政

民主共和政

ポエニ戦争

内乱の一世紀

<p>1C</p>	<p>★オクタヴィアヌス { アウグストゥス (尊厳者) の称号 プリンケプス (第一の市民) を自称 9年 トイトブルク森の戦い→国境はライン川</p>	<p>ナザレのイエス (前4～後30頃) →処刑 キリスト教徒を迫害 →ペテロ・パウロ殉教</p>	<p>衰退</p>	
<p>2C</p>	<p>ネロ帝 64年 ローマの大火</p> <p>【1】 ネルヴァ 【2】 トラヤヌス 【3】 ハドリアヌス 【4】 アントニウス=ピウス 【5】 マルクス=アウレリウス=アントニヌス</p> <p>166年 後漢に使者 (中国では“大秦王安敦” by 『後漢書』)</p>			
<p>3C</p>	<p>★カラカラ 212年 アントニヌス法 (勅令) ローマ市民権を帝国の全自由民に拡大</p> <p>★ヴァレリアヌス 260年 ササン朝シャープール1世に捕らわれる</p> <p>★ディオクレティアヌス 自らを“ドミヌス (主人・支配者)”と称す (専制君主政の開始) 四分統治 (四帝分治制) テトラルキア 4人で分担統治</p>	<p>キリスト教を大迫害 (皇帝崇拝を拒否)</p>	<p>3C～ コロナートゥス (農奴制)</p> <p>財政難 →貨幣を乱発 →インフレ →経済崩壊!</p>	<p>×226年滅亡 (by ササン朝) ササン朝</p> <p>シャープール1世</p>
<p>4C</p>	<p>★コンスタンティヌス 313年 ミラノ勅令 330年 コンスタンティノーブルへ遷都 職業・身分の固定化・コロヌス土地緊縛令</p> <p>★コリアヌス (“背教者”) …ミトラ教信仰→キリスト教を論難</p> <p>★テオドシウス 395年 帝国を東西に分割</p>	<p>キリスト教を公認 325年 ニケーア公会議 ○アタナシウス派 ×アリウス派</p> <p>392年 キリスト教国教化</p>	<p>ソリドゥス金貨 ※のちに東方に伝わりノ ミスマ金貨として流通</p>	<p>×651年滅亡 (by イスラーム)</p>

元首政 (プリンキパトゥス)

パックス・ロマーナ

五賢帝

軍人皇帝時代

専制君主政 (ドミナートゥス)